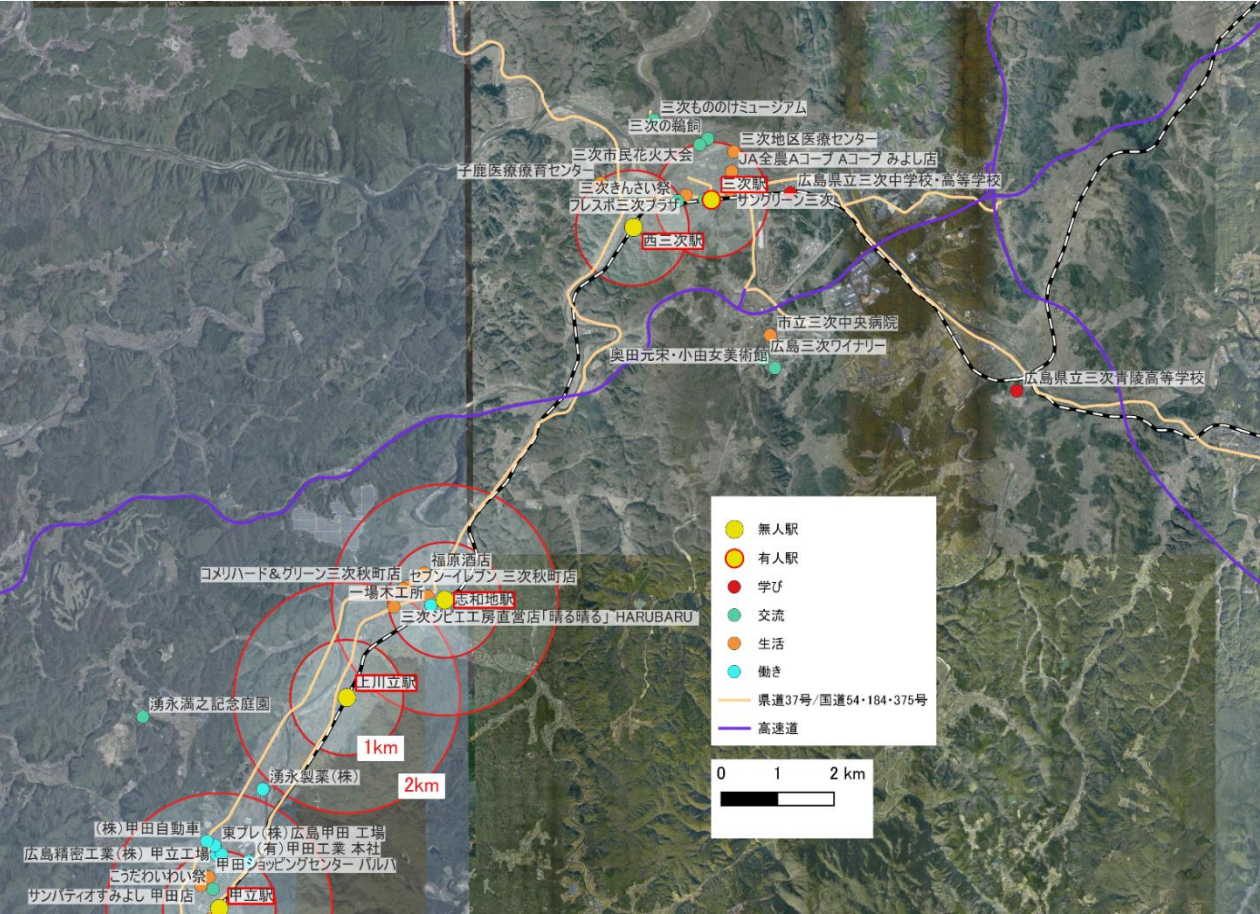


3 市連携したまちづくりの方向性を 踏まえた移動創出に係る課題

三次・安芸高田・広島まちづくり交通協議会



出典：国土地理院撮影の空中写真（2024年撮影）を基に作成

地域資源

生活

- ・主な商業施設はフレスポ三次プラザ、サングリーン、マルショク三次店（三次駅）
- ・主な医療機関は市立三次中央病院（三次駅から路線バス）、三次地区医療センター（三次駅から市街地循環線）

働き

- ・駅周辺に官公庁や商業施設等が多数立地
- ・三次市役所
- ・広島県三次庁舎
- ・三次税務署
- ・三次労働基準監督署
- ・フレスポ三次プラザ
- ・サングリーン

学び

- ・三次市内3高校（三次・三次青陵・日彰館）学生（1,002名）の約1/3がJRで通学
- ・芸備線を盛り上げる会が芸備線を残すことを目的に三次市長に提言書を提出等の活動を実施

交流

- ・三次もののけミュージアム 年間来場者数 42,956人 (R5)
- ・広島三次ワイナリー 年間来場者数 267,883人 (R5)
- ・奥田元宋・小由女美術館 年間来場者数 16,831人 (R5) ※9/1～3/31休館

イベント

- ・鵜飼（6/1～9/10）年間来場者数1,910人、・三次きんさい祭（7月下旬）来場者35,000人
- ・三次市民花火祭（9月下旬）年間来場者19,000人
- ・みよしKINSAIイルミネーション（11月下旬～2月下旬）

二次交通

バス路線（路線数）

- ・三次駅（15）・西三次駅（1）・志和地駅（1）・上川立駅（1）

タクシー

- ・三次駅：三次みどりタクシー、芸備タクシー、アサヒタクシー
- ・西三次駅：三次みどりタクシー、芸備タクシー、アサヒタクシー
- ・志和地駅：志和地タクシー
- ・上川立駅：志和地タクシー

レンタカー（距離）

- ・三次駅（1400m）

駐車場（台数）

- ・三次駅（20台）※他、駅西駐車場・駅東駐車場も有
- ・西三次駅（16台）

レンタサイクル（距離）

- ・三次駅（駅周辺施設内）

駐輪場（台数）

- ・三次駅（駅東108台、駅西132台、駅南20台）
- ・志和地駅（40台）

◎ 沿線地域でのまちづくりの方向性

- ・通学、買い物、通院など日常生活に係る移動手段が確保されており、住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりをめざす



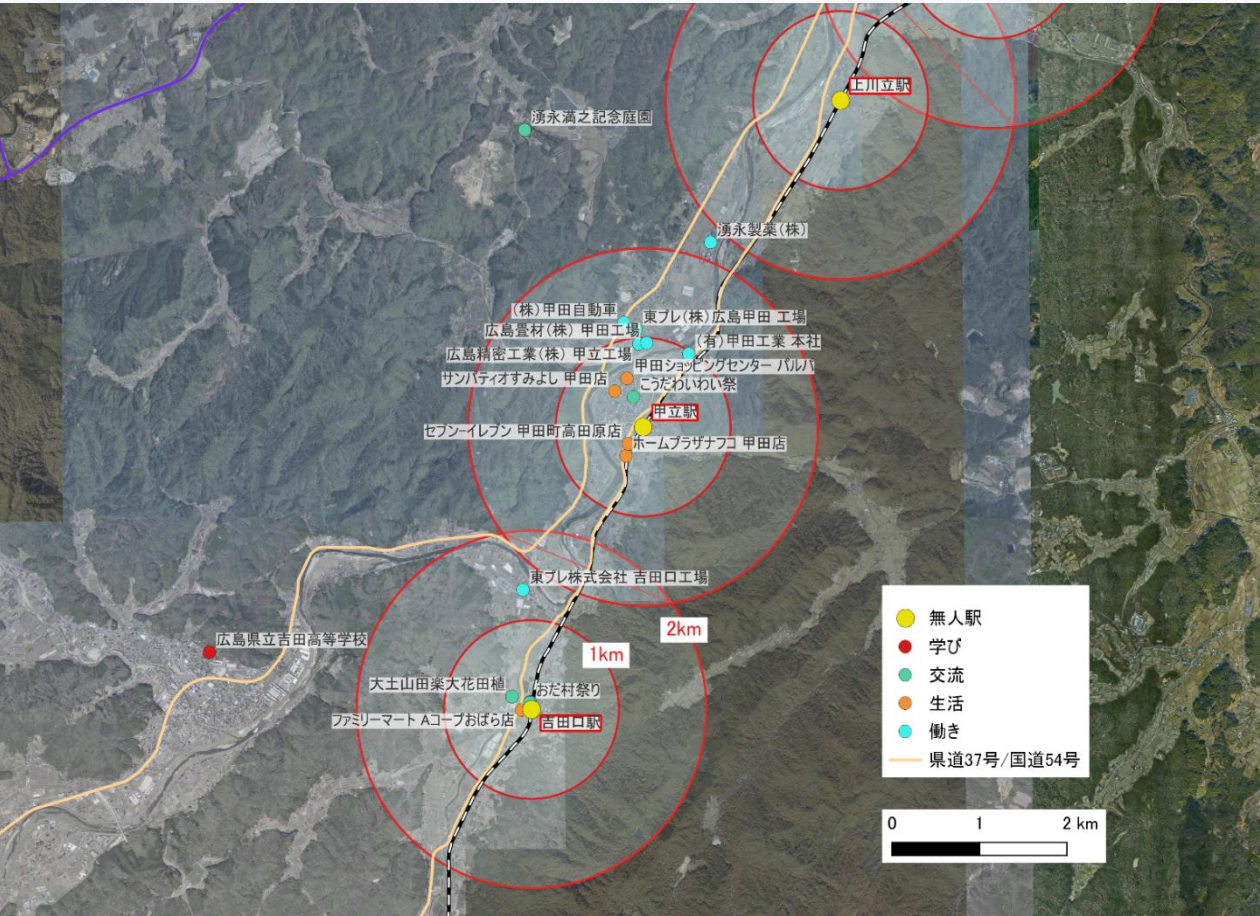
○ 沿線地域の交通に係る要検討事項

- ・通学、買い物、通院など日常生活に係る二次交通の確保への対応
- ・三次に住みながら広島方面への通勤・通学が可能なダイヤや環境の整備への対応



○ 移動創出に係る課題（案）

- ・二次交通の確保
 - (1) 各交通モードと相互にスムーズな乗り継ぎの実現
 - (2) 日常利用におけるパーク＆ライドの充実
 - (3) 周辺に点在する観光スポット等との連携
- ・ダイヤや環境の整備
 - (1) 平日朝（下り）・夕（上り）のダイヤ改善及び本数確保
 - (2) 駅舎の施設を活用した待ち時間の多目的利用
 - (3) 車内環境の改善



出典：国土地理院撮影の空中写真（2024年撮影）を基に作成

地域資源

生活

- ・甲立駅前に病院、診療所が充実しており、他のエリアから通院する人も多い
- ・吉田口駅前にJAと連携したファミリーマートが開設
- ・主な商業施設はパルパ(甲立駅)、ファミリーマート(吉田口駅)
- ・主な医療機関は増田ファミリークリニック、政永内科、なかもと眼科(甲立駅)

働き

- ・甲立駅から徒歩圏内には、スーパー、小売店、金融機関、病院、支所等が立地
- ・甲立駅から5km圏内に、工場施設等が立地（湧永製薬株式会社、東プレ株式会社）

学び

- ・10km圏内に、吉田高校があり、吉田口駅から自転車で通学する生徒がいる

交流

- ・ハンドボールの実業団チームが在籍しており、ハンドボールが盛ん
- ・甲立駅では、毎週地元ユニットがライブを開催し町外からも観客が集まる
- ・おだ村まつりとして、外国人実習生や障害者施設と連携した祭りを開催
- ・吉田口駅前にお好み焼き店を誘致
- ・NPO法人が吉田口駅前を拠点として、イルミネーションやハロウィンイベントなどを 実施

イベント

- ・おだ村まつり(6月上旬～9月中旬)・大土山田楽大花田植(6月上旬)
- ・こうだわいわい祭(10月中旬)・ツールドひろしま安芸高田(11月下旬)

二次交通

バス路線(路線数)

- ・甲立駅(3) ・吉田口駅(1)

タクシー

- ・甲立駅: 甲立タクシー

レンタカー(距離)

- ・甲立駅、吉田口駅とも近隣になし

駐車場(台数)

- ・甲立駅(40台) ・吉田口駅(18台)

レンタサイクル(距離)

- ・甲立駅、吉田口駅とも近隣になし

駐輪場(台数)

- ・甲立駅(80台) ・吉田口駅(45～50台)

◎ 沿線地域でのまちづくりの方向性

- ・ 芸備線を活用した三次市等からの交流人口の確保
- ・ 地域に必要な都市機能の集約



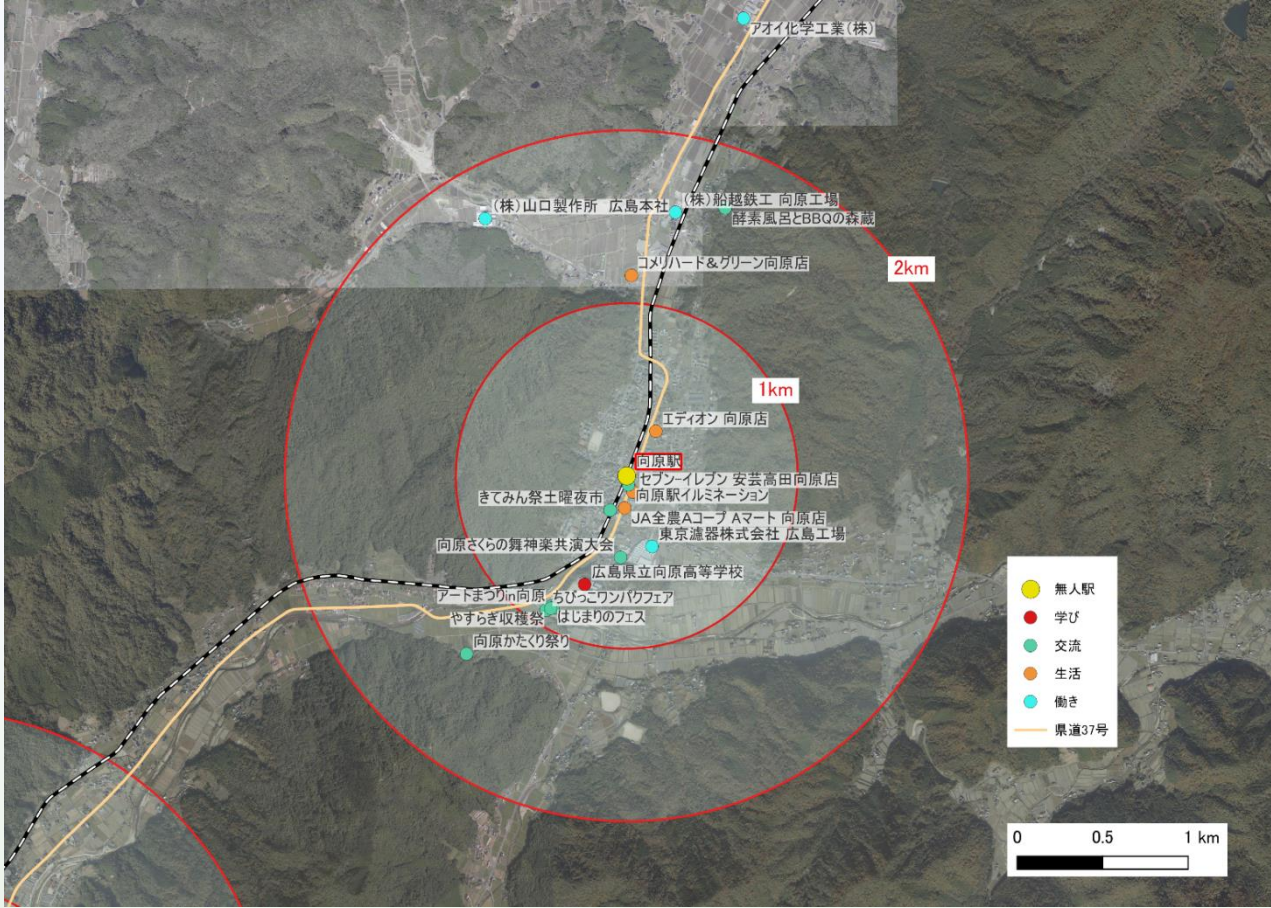
○ 沿線地域の交通に係る要検討事項

- ・ 駅と各住宅地、工場等の勤務地間の二次交通の確保への対応
- ・ 各駅での、鉄道・広域路線バスと域内交通の結節強化及び芸備線と広域路線バスの連携・棲み分けへの対応



○ 移動創出に係る課題（案）

- ・ 二次交通の整備
 - (1) 観光利用等を想定したルートの設定
 - (2) タクシー等の公共交通機関以外の交通手段の活用
- ・ 各駅での結節強化及びの連携・棲み分け
 - (1) 乗継を考慮したダイヤ設定
 - (2) 接続便数の増加
 - (3) 待合設備の整備



出典：国土地理院撮影の空中写真（2024年撮影）を基に作成

地域資源

生活

- ・向原駅周辺にスーパー、飲食店、病院、支所等の生活に主要な施設が集約
- ・主な商業施設はAマート ・主な医療機関は、佐々木医院

働き

- ・向原駅から徒歩圏内には、スーパー、飲食店、病院、支所等が立地
- ・向原駅舎の2・3階に企業誘致
- ・向原駅から5km圏内に工場施設等が立地〔(株)山口製作所、東京濾器(株)、アオイ化学(株)〕

学び

- ・1km圏内に、向原高校があり芸備線を利用しての通学も多い
- ・向原高校の学生が駅舎での美術作品展示やフォトコンテスト、高齢者のスマホ教室を実施

交流

- ・地域振興協議会が「きてみん祭」を毎年7月に開催
- ・安芸高田市商工会の青年部が駅周辺のライトアップ等を企画

イベント

- ・向原かたくり祭り(4月上旬) ・向原さくらの舞神楽共演大会(4月上旬)
- ・アートまつりin向原(4月下旬) 年間来場者数5000人(H27) ・ちびっこワンパクフェア(7月下旬)
- ・きてみん祭土曜夜市(7月下旬) ・はじまりのフェス(10月下旬)
- ・やすらぎ収穫祭(11月上旬) ・向原駅イルミネーション(12月～1月下旬)

二次交通

バス路線(路線数)

- ・向原駅(3)

タクシー

- ・向原駅: ニコニコタクシー

レンタカー(距離)

- ・向原駅近隣になし

駐車場(台数)

- ・向原駅(95台)

レンタサイクル(距離)

- ・向原駅近隣になし

駐輪場(台数)

- ・向原駅(駅西70台、駅東30台)

◎ 沿線地域でのまちづくりの方向性

- ・ 芸備線を活用した広島市等からの交流人口の確保
- ・ 地域に必要な都市機能の集約



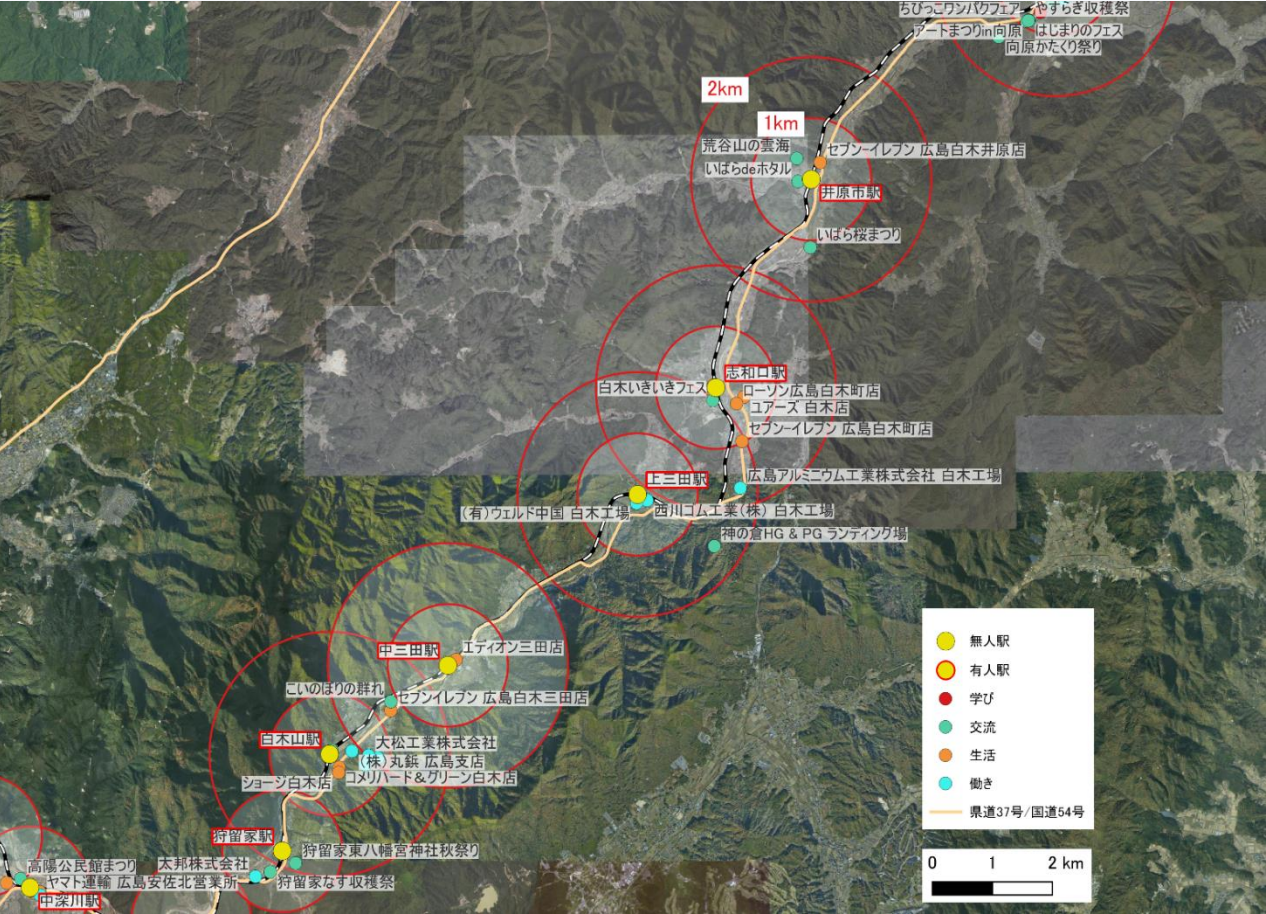
○ 沿線地域の交通に係る要検討事項

- ・ 東広島高田道路(向原～吉田間)供用を契機とした二次交通の整備への対応
- ・ 向原駅を中心とした、鉄道・広域路線バスと域内交通の結節強化への対応



○ 移動創出に係る課題（案）

- ・ 二次交通の整備
 - (1) 観光利用等を想定したルートの設定
 - (2) タクシー等の公共交通機関以外の交通手段の活用
- ・ 向原駅を中心とした結節強化
 - (1) 乗継を考慮したダイヤ設定
 - (2) 接続便数の増加
 - (3) 待合設備の整備



出典：国土地理院撮影の空中写真（2024年撮影）を基に作成

地域資源

生活

- ・主な商業施設はユアーズ白木店 (志和口駅) やショージ白木店 (白木山駅)
- ・主な医療機関はないため、住民は隣接する高陽エリアまで通院している
- ・生活施設の所在地に偏りがみられる

働き

- ・上三田駅に大規模の工場が隣接
- ・県道沿いに工場や介護施設等が立地
(広島アルミニウム工業(株)白木工場、西川ゴム工業(株)白木工場、三篠園養護老人ホーム等)

学び

- ・エリア内に高校や大学はない

交流

- ・豊かな自然を活用した登山 (白木山) やスカイスポーツ (神ノ倉山、荒谷山) ・荒谷山の雲海
- ・ネコ駅長りょうまを通じたまちづくり (志和口駅)
来場者数約6,500人 (2代目ネコ駅長就任以降 (R6.3月中旬～11月))

イベント

- ・いばら de ほたる (6月上旬) 来場者500人 (R6) ・いばら桜まつり (3月下旬) 来場者400人 (R6)
- ・白木いきいきフェス (11月上旬) ・こいのぼりの群れ (4月下旬)
- ・白木山トレイル (7月下旬)

二次交通

バス路線 (路線数)

- ・井原市駅 (1) ・志和口駅 (1) ・上三田駅 (1) ・中三田駅 (1) ・白木山駅 (1)

タクシー

- ・井原市駅: 井原タクシー

レンタカー (距離)

- ・各駅の近隣になし

駐車場 (台数)

- ・井原市駅 (27台) ・志和口駅 (6台) ・中三田駅 (16台)

レンタサイクル (距離)

- ・各駅の近隣になし

駐輪場 (台数)

- ・井原市駅 (40台) ・志和口駅 (100台) ・中三田駅 (60～70台) ・白木山駅 (70台)

◎ 沿線地域でのまちづくりの方向性

- ・これまでの「交流するまち」をテーマとしたまちづくりをベースにしながら、「JR芸備線の利用促進や沿線の価値向上」を新たな視点として加え、「自然とともに、活気あふれる楽しい地域」及び「いつでも戻ってきたい地域」を目指す



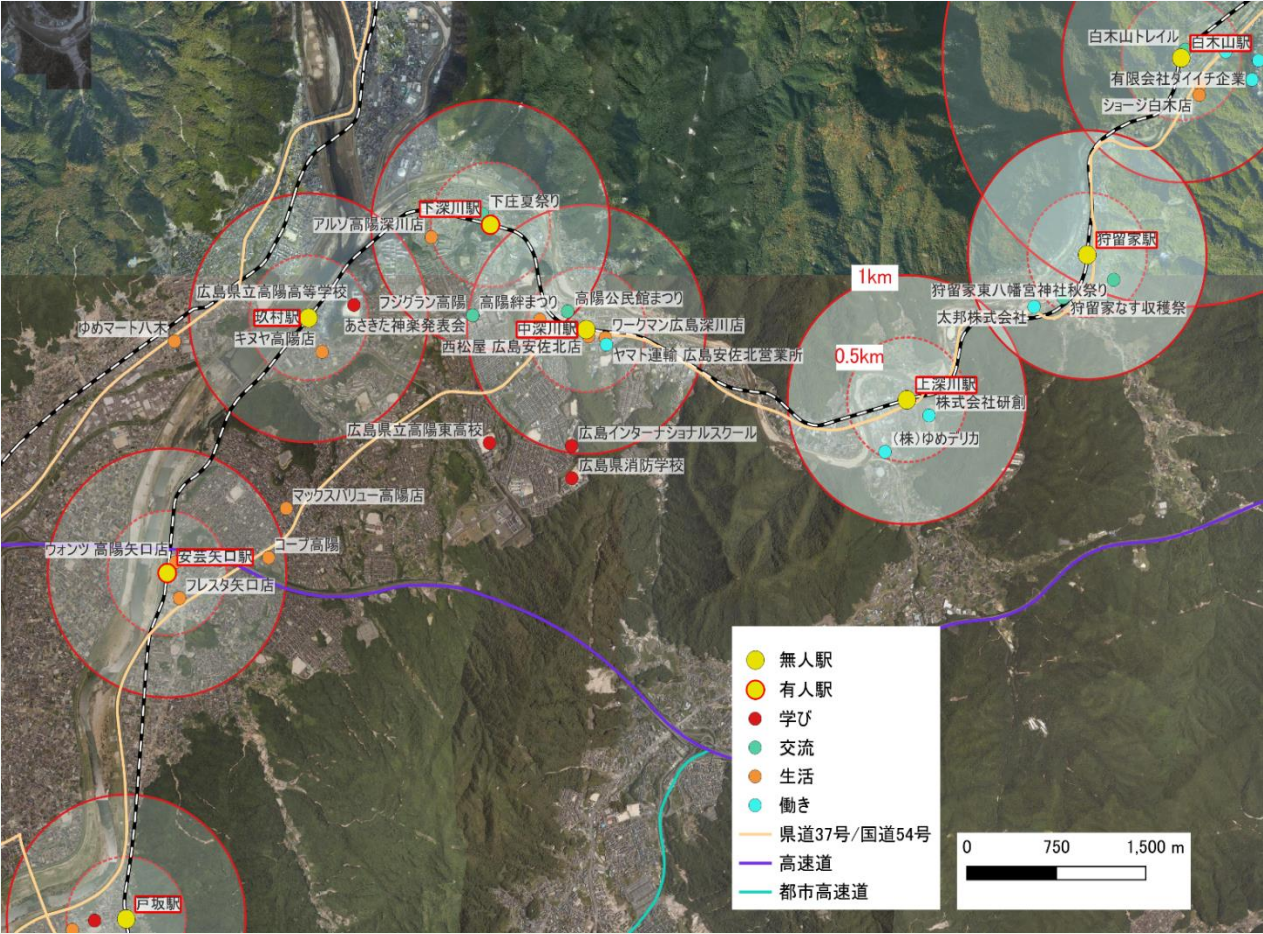
○ 沿線地域の交通に係る要検討事項

- ・駅から観光スポットまでの二次交通の確保、駅舎等における利用環境の整備への対応



○ 移動創出に係る課題 (案)

- ・二次交通の確保
 - (1) 交通広場など複数モードの乗り継ぎ空間の確保
 - (2) 日常利用におけるパーク & ライド利用の充実
 - (3) 駅周辺に点在する観光スポット等との連携
- ・駅舎等における利用環境整備
 - (1) 地域団体等による駅舎の利活用
 - (2) 駅舎及び駅周辺施設を活用した交流活動の充実
 - (3) キャッシュレス化の推進
 - (4) 公共交通 (芸備線) への地域住民の関心の向上



出典：国土地理院撮影の空中写真（2024年撮影）を基に作成

地域資源

生活

- ・主な商業施設はフジグラン高陽(下深川駅)、アクロスプラザ高陽(中深川駅)、コープ高陽、マックスバリュ高陽店(安芸矢口駅)
- ・主な医療機関は高陽ニュータウン病院(下深川駅付近)、高陽中央病院(玖村駅付近)
- ・狩留家地区のみ生活施設が不足

働き

- ・中深川駅～上深川駅間に大きな工場や営業所等が多数立地。
(株)ゆめデリカ、ヤマト運輸広島安佐北営業所等)

学び

- ・高陽高校(玖村駅) ・高陽東高校(下深川駅) ・県立広島特別支援学校
- ・広島インターナショナルスクール

交流

- ・狩留家なすの6次産業化の推進 ・中小田古墳群の整備
- ・郷土史研究会による狩留家探訪

イベント

- ・狩留家なす収穫祭(6月下旬) ・狩留家東八幡宮神社秋祭り(10月上旬)
- ・高陽公民館まつり(6月上旬) ・高陽絆祭り(7月中旬) ・下庄夏祭り(8月中旬)
- ・あさきた神楽発表会(11月上旬)

二次交通

バス路線(路線数)

- ・狩留家駅(1) ・上深川駅(2) ・中深川駅(4) ・下深川駅(2) ・玖村駅(3) ・安芸矢口駅(3)

タクシー

- ・上深川駅:若川タクシー ・下深川駅:やぐちタクシー
- ・玖村駅:高陽交通、やぐちタクシー ・安芸矢口駅:はと第一交通

レンタカー(距離)

- ・下深川駅(100m) ・安芸矢口駅(190m) (850m)

駐車場(台数)

- ・狩留家駅(11台) ・下深川駅(24台)※他、民間16台も有 ・安芸矢口駅※民間19台有

レンタサイクル(距離)

- ・各駅の近隣になし

駐輪場(台数)

- ・狩留家駅(50台) ・上深川駅(40～50台) ・中深川駅(50～60台)
- ・下深川駅(200～250台) ・玖村駅(350～400台) ・安芸矢口駅(400～500台)

◎ 沿線地域でのまちづくりの方向性

- ・ これまでの「都市機能の強化・拠点性の向上」に向けたまちづくりをベースにしながら、「JR芸備線の利用促進や沿線の価値向上」を新たな視点として加え、「多世代にとって、安心してずっと暮らし続けたい地域」を目指す



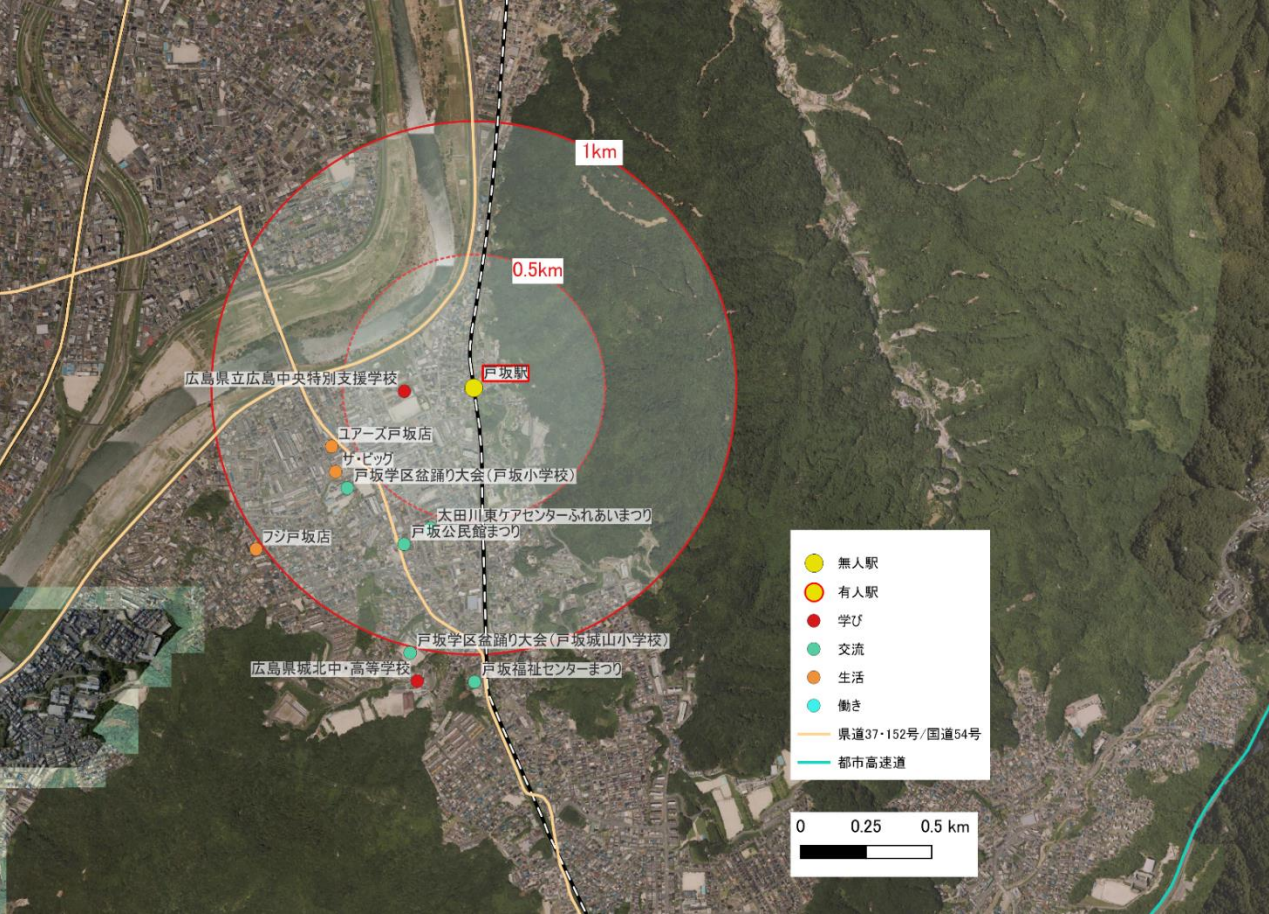
○ 沿線地域の交通に係る要検討事項

- ・ 市内中心部等への移動による主要地方道広島三次線（中深川～上深川間）の道路混雑の解消への対応
- ・ 駅と各住宅地、工場等の勤務地間の二次交通の充実・確保、駅舎等における利用環境の整備への対応



○ 移動創出に係る課題（案）

- ・ 道路混雑解消
 - (1) 他の交通モードとの連携による移動手段の確保
 - (2) 駅周辺の駐輪場、駐車場の充実による交通結節点の機能向上
- ・ 二次交通の充実・確保
 - (1) 日常生活におけるパーク＆ライド利用の充実
 - (2) 待合環境の改善
 - (3) 交通モード間相互のダイヤ調整
- ・ 駅舎等における利用環境の整備
 - (1) 駅舎及び駅周辺施設を活用した交流活動の充実
 - (2) 公共交通（芸備線）への地域住民の関心の向上



出典：国土地理院撮影の空中写真（2024年撮影）を基に作成

地域資源

生活

- ・主な商業施設はザ・ビック戸坂店（戸坂山崎町）、ユアーズ戸坂店（戸坂山崎町）
- ・主な医療機関は太田川病院（総合病院／戸坂千足）
- ・地域団体、福祉関係専門機関、行政が連携した「戸坂ともいきネット」を立ち上げ、地域課題の共有等を実施
- ・戸坂ともいきタクシー（乗合タクシー）が地域内を試験運行中

働き

- ・エリア内に大規模な工場等はない

学び

- ・広島城北中・高等学校
- ・県立広島中央特別支援学校

交流

- ・長尾古墳群（広島市指定重要有形文化財）
- ・戸坂城跡（牛田山山頂）
- ・松笠山、牛田山（地域内に登山口あり）

イベント

- ・太田川東ケアセンターふれあいまつり（4月下旬）・戸坂福祉センターまつり（6月上旬）
- ・戸坂学区盆踊り大会（8月上旬）（戸坂小学校）・戸坂公民館まつり（10月上旬の2日間）
- ・戸坂城山学区盆踊り大会（8月上旬）（戸坂城山小学校）

二次交通

バス路線（路線数）

- ・戸坂駅(1)

タクシー

- ・戸坂駅：はと第一交通

レンタカー（距離）

- ・戸坂駅(600m)

駐車場（台数）

- ・戸坂駅近隣になし

レンタサイクル（距離）

- ・戸坂駅近隣になし

駐輪場（台数）

- ・戸坂駅（200～250台）

◎ 沿線地域でのまちづくりの方向性

- ・「支えあい ともに咲かそう えがおのまち へさか」を合言葉に、住民が安心して生活することができる「明るく住みよい安心・安全なまちづくり」の実現を目指す



○ 沿線地域の交通に係る要検討事項

- ・ 市内中心部等への移動による一般県道府中祇園線の道路混雑の解消への対応
- ・ エリア内の学校の公共交通利用促進
- ・ 駅と各住宅地間の二次交通の充実・確保への対応



○ 移動創出に係る課題（案）

- ・ 道路混雑の解消及び公共交通利用促進
 - (1) 駅の駐輪場、駐車場、駅前広場の充実等の交通結節点の機能向上
 - (2) マイカー利用からの他の公共交通への転換
- ・ 二次交通の充実・確保
 - (1) 乗合タクシーや路線バスとのアクセス性の向上
 - (2) 待合環境の改善



出典：国土地理院撮影の空中写真（2024年撮影）を基に作成

地域資源

生活

- ・隣接エリアにイオンモール広島府中(府中町)、フォレオ広島東(温品)といった大型商業施設がある
- ・矢賀うり、矢賀ちしゃといった地場の伝統野菜の栽培エリアもある
- ・エリア内に拠点的な医療機関はない
- ・矢賀学区まちづくり委員会を設立し、地域課題の解決に向けた取組を実施

働き

- ・隣接エリア(府中町)に大規模商業施設(イオンモール広島府中)が立地

学び

- ・エリア内に高校や大学はない

交流

- ・矢賀一里塚から岩鼻、才蔵寺を經由し、二葉の里歴史の散歩道に点在する歴史的建造物(神社・仏閣など)の散策
- ・大内越山(地域内に登山口あり)

イベント

- ・矢賀夏まつり(8月)(矢賀小学校)・JR貨物フェスティバル(10月)
- ・矢賀学区歩こう会(2月)(矢賀第一公園)
- ・多世代カフェやがほかほか(毎月第2土曜)(矢賀中央集会所)
- ・イオンモール広島府中での各イベント(不定期)

二次交通

バス路線(路線数)

- ・矢賀駅(2)

タクシー

- ・矢賀駅近隣になし

レンタカー(距離)

- ・矢賀駅近隣になし

駐車場(台数)

- ・矢賀駅※民間2台有

レンタサイクル(距離)

- ・矢賀駅近隣になし

駐輪場(台数)

- ・矢賀駅(100台)

◎ 沿線地域でのまちづくりの方向性

- ・「矢賀の歴史・文化の資源を活かして地域が活性化し、誰もが集い交流を深めて、健康で安心して暮らせるまち」の実現を目指す



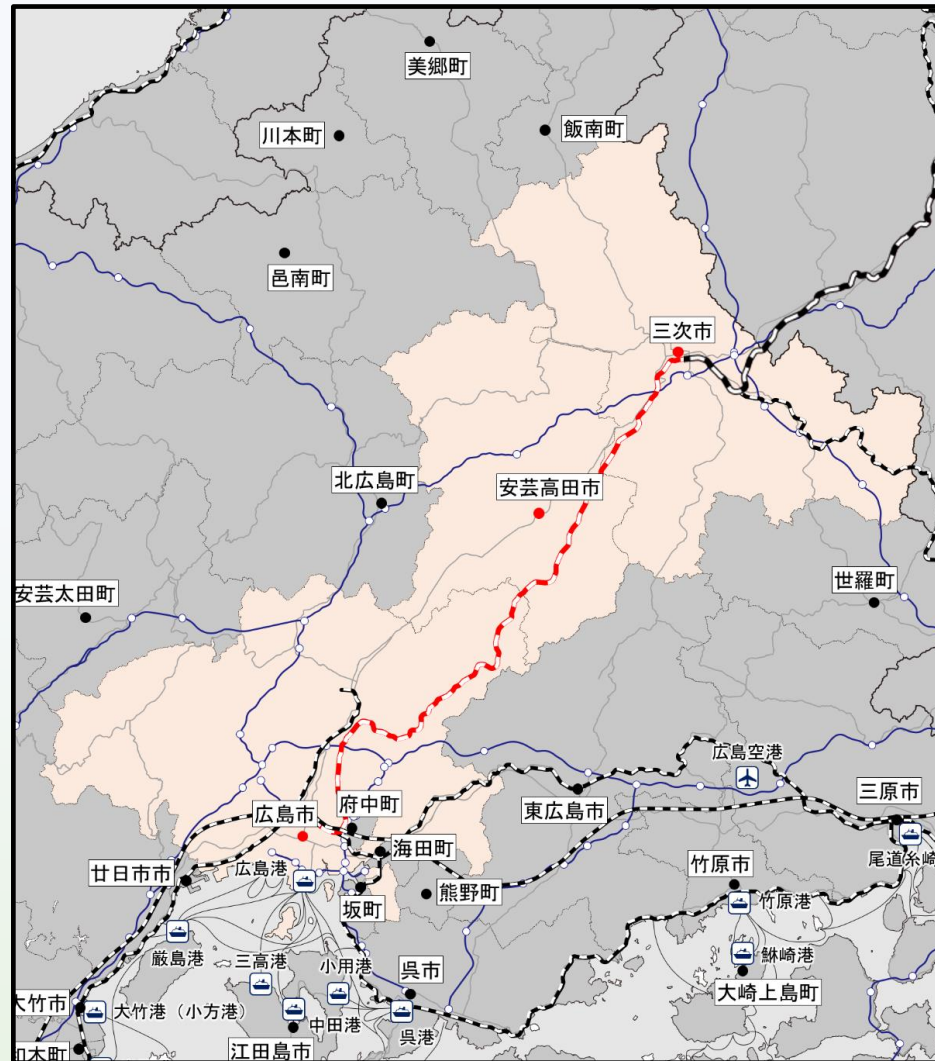
○ 沿線地域の交通に係る要検討事項

- ・市内中心部や広島駅方面等への移動による、主要地方道広島中島線の道路混雑解消への対応



○ 移動創出に係る課題(案)

- ・道路混雑解消
 - (1) マイカー利用から他の公共交通利用への転換
 - (2) 駅の交通結節点としての機能向上を含む公共交通の利便性の向上



◎ 3市連携したまちづくりの方向性 〔第2期広島広域都市圏発展ビジョン より〕

誰もが“住み続けたい”“住んでみたい”広島広域都市圏

＜経済面＞

ヒト・モノ・カネ・情報が巡る都市圏

＜生活面＞

どこに住んでも安心して暮らしやすい都市圏

＜行政面＞

住民の満足度が高い行政サービスを展開できる都市圏



○ 広域的な交流に係る要検討事項

- ・来広観光客や広島市側居住者に対する芸備線沿線地域への誘導
- ・芸備線沿線地域から広島市中心部へのアクセス向上

◎ 3市連携した移動創出に係る課題（案）

- (1) 駅を中心とした拠点づくり
- (2) 二次交通の充実強化
- (3) 広域的な交流促進に資する芸備線の機能強化



今後は「まちづくりのためのJR芸備線のあり方の検討」において、これらの課題に資する施策の検討を行う